令和6年度 第2回高知大学医学部後援会理事会議事要録

1. 開催日時 令和7年3月30日（日）11:00～11:50

2. 開催場所 高知大学医学部 特別会議室

3. 出席者

【後援会役員】 岡林会長、深田理事、西岡副会長、秋森理事、西森理事、筒井理事、
安川理事、橋詰理事、武内理事、野中理事、溝渕理事

【本学役員等】 井上医学部長、數井副医学部長、大坂看護学科長、
片山医学部・病院事務部長

【本学陪席者】 刈谷学生課長、山脇学生支援係長、溝渕学生支援係員

欠席者

【後援会役員】 澤田理事、岡崎理事、市川理事

4. 開会

岡林会長及び井上医学部長から挨拶を行い、刈谷学生課長による資料確認の後、岡林会長により議事を進行した。

5. 議事

(1) 議題1 令和7年度役員を選任について

岡林会長から、資料1-1に基づき、今年度をもって任期満了となる役員を紹介が行われた後、資料1-2に基づき、令和7年度再任する役員、新入生の保護者から選出される役員、および役員を担当の変更についての説明が行われ、審議の結果、承認された。

(2) 議題2 令和6年度事業報告及び決算報告について

山脇学生支援係長から資料2-1および資料2-2に基づき、各費目における項目ごとに収入金額及び支出金額の内容について報告した。

秋森理事から、会費未納者対応について質問があり、溝渕係員から、第1回理事会にて協議されたとおり、令和7年から4月及び8月に納付の依頼文を未納者宛に送付することを確認した。

以上のとおり、審議の結果、承認された。

(3) 議題3 令和7年度事業計画及び収支予算（案）について

山脇学生支援係長から、資料3に基づき、令和7年度事業計画及び予算（案）について説明が行われた。

筒井理事から、定期預金の利子の扱いについて質問があり、溝渕係員から、定期預金については別会計を設けて運用しているのではなく、その利子については利子収入として翌年度会計に組み入れていることを説明した。

筒井理事から、積立金について、運用のルールが定まっていない場合は有益な形で運用を行うこともあり得るのではないかとの意見が述べられた。溝渕係員から、積立金の運用のルールは定まっていない。現在は高知銀行、高知信用金庫に定期預金として預けているが、他の良い方法があればご教授願うこと。また、運用方法を変更する場合は理事会に諮り対応することを説明した。

岡林会長から、年々物価の高騰と人件費の上昇で繰越額が減少しているが、収入額が減少した場合は予算額を削減するかファンド等で補って行くのかとの質問があり、溝渕係員から、積立金は学生支援のために設けられているものであり、緊急の場合は、学生緊急援助積立金を崩すのもあり得るのではないかとの説明を行った。

大坂看護学科長から、会費見込額における看護学科3年次編入の定員について2名に変更されていることが報告された。

以上のとおり、審議の結果、承認された。

※なお、資料3における看護学科3年次編入の定員について2名に変更されていることに伴い、資料3に記載している会費の見込額が15,675,000円から15,295,000円に380,000円の減少となること。予備費を1,036,208円から656,208円に減額することを4月1日付けメールにて第2回理事会に出席した役員に報告した。

(4) 議題4 令和6年度卒業生及び令和7年度入学者の状況について

刈谷学生課長から、資料4-1及び資料4-2に基づき、卒業生の医師・保健師・看護師国家試験結果及び令和7年度入学手続状況の説明が行われた。

(5) 議題5 令和6年度学業等優秀者の後援会被表彰者の決定について

山脇学生支援係長から、資料5-1、資料5-2および資料5-3に基づき、学業等優秀者の後援会被表彰者及び活動成果の優秀な課外活動団体の後援会被表彰者について説明が行われ、審議の結果、承認された。

なお、表彰式は令和7年度後援会総会において実施することを報告した。

(6) 議題6

その他

・2028(令和10)年度の高知大学医学部・旧高知医科大学開学50周年の記念事業について
数井副医学部長から、高知大学医学部・旧高知医科大学開学50周年記念事業の計画について報告された。井上医学部長から、6年生勉強部屋について補足説明された。

・西森理事から、今年度の医学科卒業生について、高知に残った人数について確認が求められた。井上医学部長から、高知県下の1年目研修医は高知大学卒業生45名含めて49名であることを報告した。